

駅前中心商店街の新たな顧客の発掘



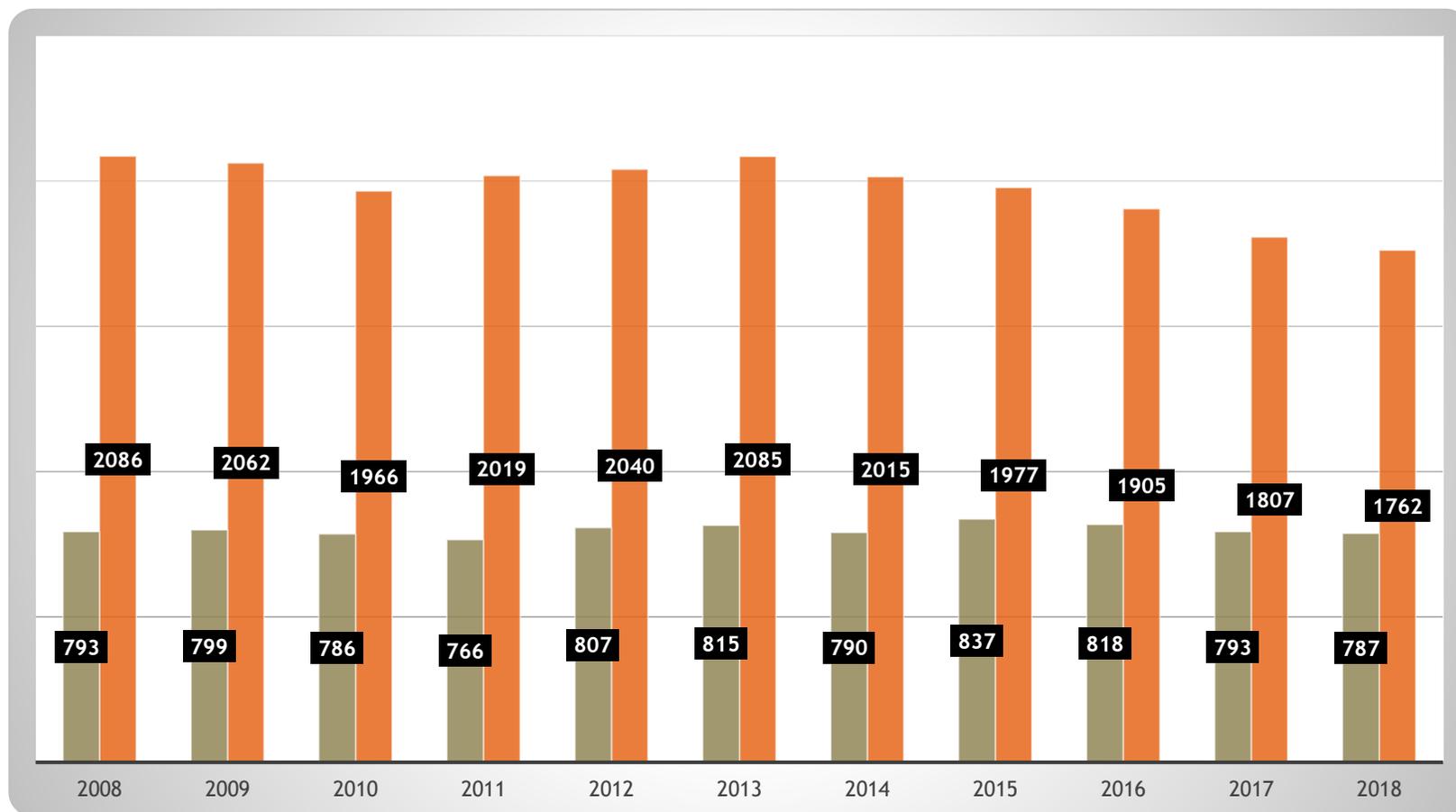
▶ Bグループ

事業の背景①

二本松駅前は、二本松市の中心拠点として位置付けとなっている。

J R二本松駅は年々利用客が減少している。

坂道が多く、電車の利用者からは城下町としての特性を生かしにくい。



【参照】

JR東日本ホームページ

「各駅の乗車人数」

各年の二本松駅・安達駅の
乗車人数を比較。

事業の背景②

一方でエビスサーキットでのドリフトを訪日の目的とした外国人が来松するなど、観光資源が点在している。しかし、そのインバウンドの恩恵を受け切れているか不明な点が多い。宿泊施設についても岳温泉などの温泉施設はあるが、手軽に長期間泊まれる施設（民泊・ゲストハウス）を中心市街地に設置することにより、飲食店等の他業種にも恩恵を受けられるようにできないかと考えた。

※二本松市の外国人観光客の統計はない。



参照：エビスサーキットHP

事業の目的

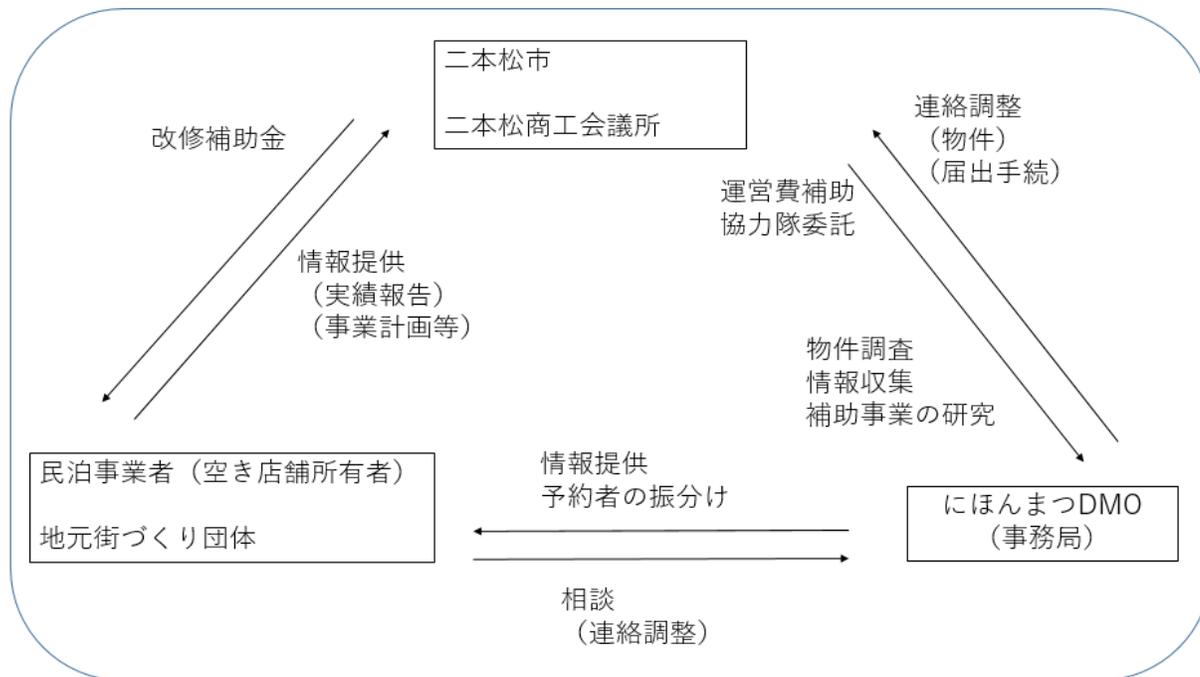
観光地としての二本松を推進していくにあたり、中心市街地に滞在できる環境づくりを推進するとともにインバウンドや商工観光関係の事業をさらに発展させるため、新たな客層の発掘をする。

そのため、中心市街地のメインストリートの空き店舗を活用した事業を展開する。



事業概要①

中心市街地の空き店舗において、民泊または簡易宿泊所を開業する事業主体に補助。
外国人旅行者向けの予約獲得のため、外国人旅行サイトへの登録を中心とする。
民泊組合を組織し、その事務についてはDMOに委託する。
事務局員には地域おこし協力隊の活用を検討する。
(委嘱期間内に旅行業務取扱管理者の資格取得を目指す。)



世界最大手民泊向けサイト「airbnb」にて検索

事業概要②

観光手段整備事業

電動自転車の整備 + 5 台。ルート提案を行う。

(instagram のハッシュタグの活用、 youtube での経路案内
インフルエンサーの活用など)

市内周遊用クーポン発券助成事業

中心市街地の民泊・簡易宿泊所に宿泊した方やレンタルサイクルの利用者に対して、市内飲食店・施設で利用できるクーポン券の発券をする。

予算概要

①店舗等施設整備費補助金の拡充

- ・補助金 2,000千円 (上限の拡充)

②観光手段整備事業

- ・備品購入費(補助金として支出する) 電動自転車 78千円×5台

③市内周遊用クーポン発券助成事業

- ・1名あたり1,000円×100名分 = 100千円

④協議会運営に関する経費

- ・地域おこし協力隊活動経費

人件費分2,000千円 委託料分2,000千円

- ・事務費等500千円

効果の検証

市内宿泊者数

市内観光客数

民泊開業者数

まとめ

◎ 海外からの注目の高まり。

◎ 宿泊施設の多角化により市内滞在時間を増やす。



二本松市の中心商店街への来客人数を増やすことにより活性化を目指す！